

12月上旬に秋学期が終わり、1月下旬まで冬季休業となりました。学生の数も減り、キャンパス内が寂しくなってきました。今月の報告書では、秋学期を振り返ってと冬季休業の過ごし方について書きたいと思います。

秋学期を振り返って

夏学期の集中的な授業とは違い、今学期は時間にゆとりがありました。そのため、授業だけでなく課外活動にも参加することができました。

授業は少人数で行われ、教室も狭いため先生と生徒の距離がとても近かったです。先生から生徒、生徒から先生への質問、生徒同士の話し合いも頻繁にあり、日本との授業の違いに最初は戸惑いました。また、課題やテストの日程、配布資料などはwebで確認することができました。課題は授業の終わりに言われ、聞き逃すことがあったのでwebで確認することができることは良かったです。

課外活動では、テニスと卓球クラブの他にJCTに参加しました。授業だけでは、どうしてもネイティブの学生と話す機会が少ないため、課外活動は英語を話す練習とストレス発散に効果的でした。来学期も継続して課外活動に参加したいと思います。

ELCでは、月に数回、イベントを開催しています。様々なイベントがあり、興味のあるものに参加することができます。イベントは無料のものから少し料金のかかるものもありました。私は、秋学期が終わってから開催された3泊4日のNew York Tripに参加しNYCを観光しました。これは、今年初めて開催されたイベントで、今までこういった泊まりの旅行イベントは無かったと言っていました。料金は200ドルで他のイベントと比べるととても高いですが、この料金にはホテル代、交通費が含まれており、個人で行くよりもはるかに安い料金でした。参考までに、私たちが宿泊したホテルは1泊、約250ドルと言っていました。クラスメートも参加しており、ブルックリンブリッジなどを一緒に観光しました。



冬季休業の過ごし方

この期間は、キャンパス内のレストランやストアなどが通常の営業時間とは異なります。また、寮によっては完全に閉まってしまい、住むことができなくなります。私の住んでいるグローバルビレッジは冬季休業中も閉まらないため住むことが可能です。しかし、年末年始はキャンパス内のレストランなどが完全に閉まるため、食料の調達が難しくなります。そのため、ほとんどの学生がこの期間、旅行に行ったり、実家に帰ったりして過ごします。ELCの学生も母国に帰る人や旅行に行く人など様々でした。私は年末年始をロサンゼルスとサンフランシスコで過ごすことにしました。ロサンゼルスは西海岸の南にあるため、冬でも昼間は暖かくとても過ごしやすかったのですが、夜になると気温は下がり上着が必要になりました。また、日本から友達が来てくれたため、とても楽しい時間を過ごしました。

6月に渡米し半年以上が過ぎ、1年間の留学も残り半年となりました。私の英語力も向上してきたと思います。残り半年でさらに英語力が向上できるよう、頑張りたいです。

以上で今月分の報告を終わります。